

備前市事務事業評価表

事務事業名	特定目的基金積立金		コード	06-01-07-03
			担当課・係	財政課・財政係
			担当者	佐藤行弘
事業実施期間			電話	0869-64-1810
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり		
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営		
	小項目(施策)	財政（財政関係）		

事業について	
目的 (何のために)	社会福祉事業の促進及び生活環境の整備その他公共施設の整備などの市の振興事業の財源とするため、備前市振興基金を積み立てる。
対象 (誰・何を対象に)	基金の目的に沿った事業を実施する庁内各部署、施設を利用する市民
内容	振興基金の運用益の積立

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
振興基金積立	4回	4回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	0	間接補助金等		直接事業費	0	間接補助金等				
	人件費	300	受益者負担		人件費	380	受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	300	一般財源等	300	合計	380	一般財源等	380	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.05人	0.05人	
結果指標名	振興基金積立	振興基金積立	
結果指標量	4	4	
単位	回	回	
対前年比	-	-	0.00%
活動にかかるコスト	300,000円	380,000円	
単位当たりコスト	75,000円	95,000円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	基金の目的（社会福祉事業の促進及び生活環境の整備その他公共施設の整備など）に沿った成果を發揮するために必要となる基金残高とする。		
成果指標名	振興基金残高	式又は説明	備前市振興基金の年度末残高
	17年度	18年度	
成果指標量	18,973	18,997	
対前年比	-	100.13%	0.00%
到達目標値	100,000	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 地方自治法、備前市振興基金条例)
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	前年度と同じく運用益のみを積立る。
目標値	結果指標量	4	結果指標量	40,000千円

総合評価	目標とする基金残高となるよう、毎年度一定額を積み立てる必要があるが、その財源も無いのが現状である。	評価区分 < A ~ E > <b>C</b>
------	---	-------------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	基金積立財源の確保	H20～	基金の目的事業に充当する財源を確保できる。